

さらに、齋藤 孝 教授は次のようにも述べています。

「日本語を体得するという観点からすると、子供の頃に名文と出会い、それを覚え、身体に染み込ませることは、その後の人生に莫大なプラスの効果を与える。(中略)

歴史の中で吟味され生き抜いてきた名文を声に出して詠み上げてみると、そのリズムやテンポのよさが身体に染みこんでくる。そして、身体に活力を与える。心の力につながってくる。」

『声に出して読みたい日本語』 齋藤 孝 著 より

言葉の学習だけでなく、身体そして心の教育にもつながり、人生に莫大なプラスになると言うのです。

職員会議で先生方に説明し、最初の指導は私が行うことにしました。貴重な授業時間を使わせていただくので、子供たちが楽しく熱中するような授業をしたいと考え、授業に臨みました。1年生も「十二支」を多くの子が暗唱してしまいました。

校長室や職員室の私のところに自主的に暗唱テストを受けに来る子もいます。

指導方法・活用方法については、今後先生方と話し合いながら、工夫して取り組んでいただきたいと思います。例えば、今月の名文として、月ごとに指定した詩文を朝の会や国語の授業時間にクラス全員で音読するのもよいと考えています。

子供たちが、家で「暗唱詩文集」を声に出して読んでいたら、褒めてください。できましたら、お家の方も一緒に声に出して読んでいただけるとありがたいです。

ぜひ、親子で暗唱にも挑戦してほしいと思っています。

この暗唱詩文集の内容については検討・修正しながら、よりよいものにしていきたいと考えています。

ご意見・ご感想をお待ちしております。

学校のホームページ [おたより] のページに

「大平東小学校 暗唱詩文集」のPDF版をアップしましたので、スマホやパソコンでも見ることができます。保護者の方、地域の方も、ぜひご覧ください。

「おひさまクラブ」の方々による朝の読み聞かせ活動

朝の読み聞かせボランティア「おひさまクラブ」の方々による読み聞かせ活動を定期的に行っています。

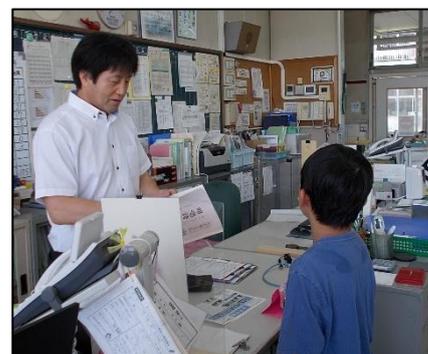
子供たちは、すっかりお話の世界に引き込まれています。

語彙を豊かにするには読書が有効ですが、読み聞かせは子供たちが本に興味をもつきっかけになります。また、読み聞かせには子供の想像力を刺激したり、聞く力を身に付けたりする効果があるとされています。

「おひさまクラブ」の皆さん、本校の子供たちのために今後どうぞよろしくお願ひします。



「暗唱詩文集」最初の授業



校長室や職員室に暗唱テストを受けに来る子供たち

「暗唱詩文集」PDF版
はこちらから⇒



学校だよりや「暗唱詩文集」への
ご感想・ご意見はこちらから⇒

